令和２年１月２４日	
資　料　提　供	
担当課	県立自然博物館
担当者	主査学芸員　揖
電　話	073-483-1777

”生きている化石”

深海ザメ　ラブカの標本展示

和歌山県立自然博物館で、珍しい深海ザメ、ラブカの標本を展示します。

このラブカは和歌山県太地町沖の深海約 550 mから釣り上げられ、串本海中公園で展示されましたが、残念ながら死亡してしまい、自然博物館に寄贈いただいたものです。

1. 和　名　:ラブカ
2. 学　名　: *Chlamydoselachus anguineus* GARMAN, 1884
3. 分　類　:ラブカ目 ラブカ科 ラブカ属
4. 展示物　:液浸標本　1点　取り出した内臓の標本　一式　等
5. 採集場所:和歌山県東牟婁郡太地町沖　熊野灘　水深約550m
6. 採集日　:2020年1月16日（木）
7. 採集者　:向畑　大志　氏
8. 採集方法:釣り
9. 大きさ　:全長128.9㎝
10. 展示場所:自然博物館玄関ホール
11. 展示期間:2020年1月25日（土）～2月24日（月・祝）
12. 展示までの経緯

このラブカは、1月16日に太地町沖で釣り上げたのち、生きたまま串本海中公園に搬入、展示されました。残念ながら翌1月17日には死亡し、1月18日に自然博物館に寄贈されました。自然博物館では、写真撮影、計測などを行った後、内部器官の観察のため解剖しました。その後、防腐処理等を行いました。

13. ラブカの特徴

ラブカは主に水深120～1500mに生息する深海性のサメで、時折表層でも採集されることがあります。一般的なサメは鰓穴が5対ですが、ラブカには6対あり、一番前の鰓穴は左右が下部で癒合するなど、原始的な姿をしており”生きている化石”と呼ばれています。日本では相模湾や駿河湾でしばしば捕獲されますが、和歌山県ではまれで、1923年と1985年にみなべ町沖で捕獲された標本が残っています。

〒642-0001　和歌山県海南市船尾370-1
和歌山県立自然博物館
TEL: 073－483－1777
FAX: 073－483－2721
https://www.shizenhaku.wakayama-c.ed.jp
mail: postmaster@shizenhaku.wakayama-c.ed.jp